

Le 定名詞句の照応を巡って－連想照応からのアプローチ－

出口優木

(神戸女子大学非常勤)

この発表では、定冠詞 *le* を使った照応に関して、その照応の源泉を考察する。一般に照応とは、先行詞と照応詞の同一的指示的な現象が基礎となるが、連想照応、また先行詞が明示されないものなどかなりの幅がある。その中で、特に連想照応、全体・部分の関係に代表されるフレーム知識を利用する照応、から照応という現象を見てみたい。Fradin (1984)や Kleiber (2001)の先行研究においても、連想照応は先行詞と照応詞の関係性に多くの議論が費やされているが、身体分位を含む連想照応の例においては、照応詞における定冠詞の使用は、むしろ現象文的性格が関係しているように思われる。この発表では、連想照応の例文が文学的表現と親和性が高いことから、描写としての現象文(主題文に対して)や、文体論における内的視点など、先行研究とは異なった視点から連想照応を考察し、照応における定冠詞 *le* の使用の問題を考えたい。